

第30期 IR REPORT

2020年3月期 中間報告書
(2019年4月1日～2019年9月30日)



共通の善を追い求めて

平素は格別のご支援、お引き立てを賜り厚く御礼申し上げます。

当社は創業以来29年連続の黒字を達成し、収益性の高い安定した経営を行っております。

インターネット接続事業では、光コラボレーションモデルを活用した「AsahiNet 光」への転用促進や法人向けソリューションサービスの拡充を図っており、会員数は順調に増加しています。

また「v6 コネクト」についても順調なスタートを切りました。

そしてインターネット接続事業に続く成長分野として事業展開している教育支援サービス「manaba」も導入数が順調に増加しています。またパートナー企業との連携による、新たなビジネスの機会も増えてまいりました。

当社はインフラ事業の担い手として企業が社会的な存在であることを自覚し、常に社会にとっての善とは何かを考えながら今後も持続的な成長を目指してまいります。





株主の皆さまにおかれましては、なお一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。



2019年12月
株式会社朝日ネット
代表取締役社長 **土方 次郎**

2020年3月期 上期 決算ハイライト

(単位：百万円)

	19/3期 上期実績	20/3期 上期実績	増減額	増減率
売上高	4,789	5,067	+277	+5.8% 
営業利益	569	797	+228	+40.1% 
経常利益	574	834	+260	+45.3% 
四半期純利益	400	573	+172	+43.0% 
1株当たり 四半期純利益	13円54銭	20円22銭	—	—

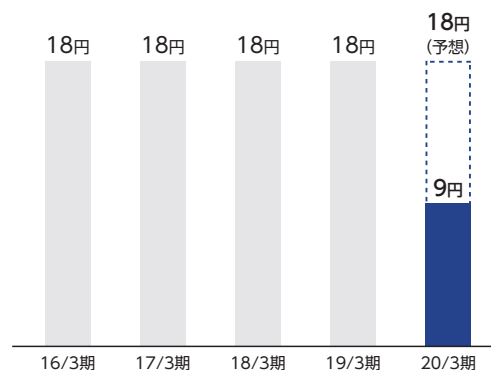
利益配当に関する基本方針

今後も安定的な高配当を継続し、株主の皆さまに利益を還元してまいりたいと考えております。

2020年3月期
配当予想について

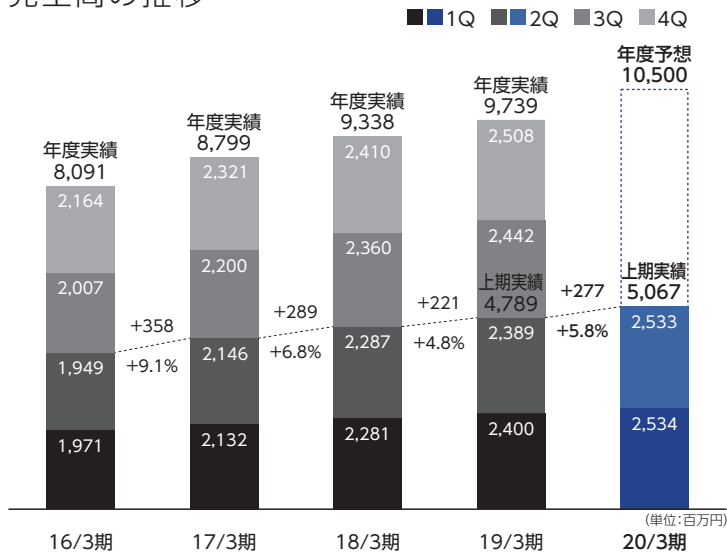
- 中間配当 9円
- 年間配当 18円/年
- 配当性向 (予想) 45.2%

配当金推移(1株あたり)

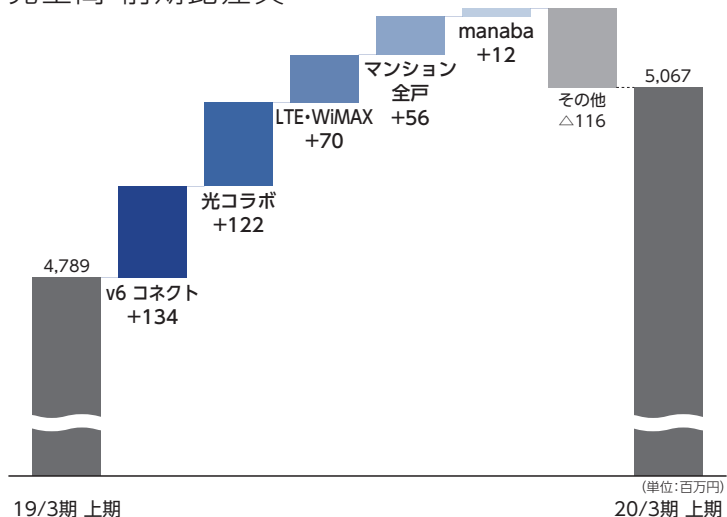


売上高

売上高の推移



売上高 前期比差異



2020年3月期上期の売上高は前年同期比5.8%増の50億6,700万円となりました。2013年3月期から8年連続で伸びており、過去最高の売上高を記録しました。年度計画105億円の達成に向けて順調に推移しております。

2019年3月期上期から2020年3月期上期にかけては、IPv6接続を電気通信事業者へローミング提供するサービス「v6 コネクト」が1億3,400万円の増収となりました。

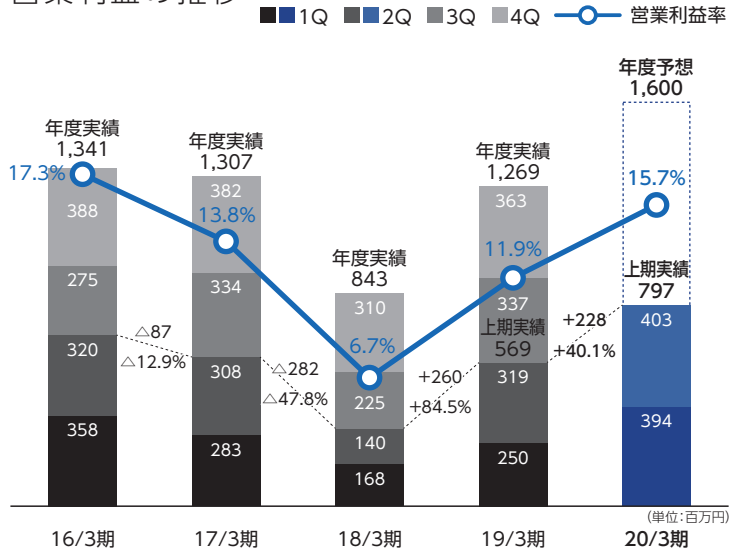
ISP「ASAHIネット」では、NTT東西の光コラボレーションモデルを活用した「AsahiNet 光」と「ASAHIネット ドコモ光」が1億2,200万円の増収、LTE・WiMAXなどのモバイルは7,000万円の増収、NTT東西と協力して提供している「ASAHIネット マンション全戸加入プラン」は5,600万円の増収となりました。

また、教育支援サービス「manaba」は1,200万円の増収となりました。

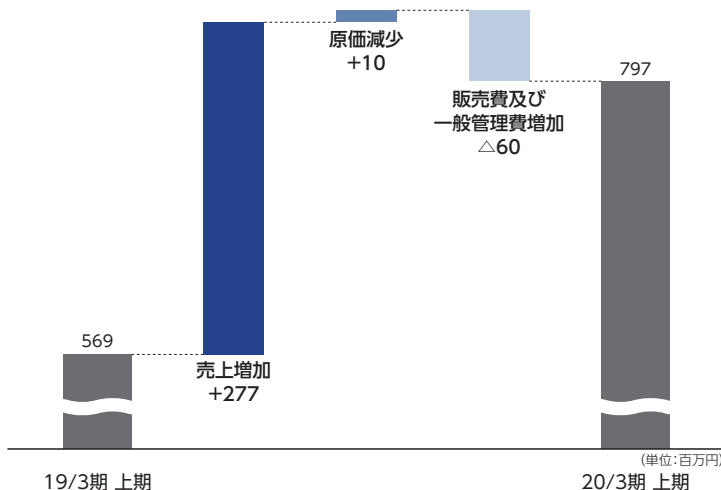
その他に含まれているサービスのうち売上が減少しているものとしては、ダイヤルアップサービスなどのナローバンドや、既に新規受付を停止しているADSLなどがあげられます。

営業利益

営業利益の推移



営業利益 前期比差異



2020年3月期上期の営業利益は前年同期比40.1%増の7億9,700万円となりました。年度計画16億円に向けて順調に推移しております。

2019年3月期上期から2020年3月期上期にかけては、売上高増収による増益が2億7,700万円となりました。

費用に関しては、売上原価が1,000万円の減少となりました。継続する通信トラフィックの増大に対して効率の良い設備増強を実施することにより、売上原価の増加幅を抑えられています。

また、販売費及び一般管理費は6,000万円の増加となりました。これは主に営業施策関連の費用となります。ISP「ASAHIネット」の売上計画に基づいた業務委託費や広告宣伝費などが該当します。

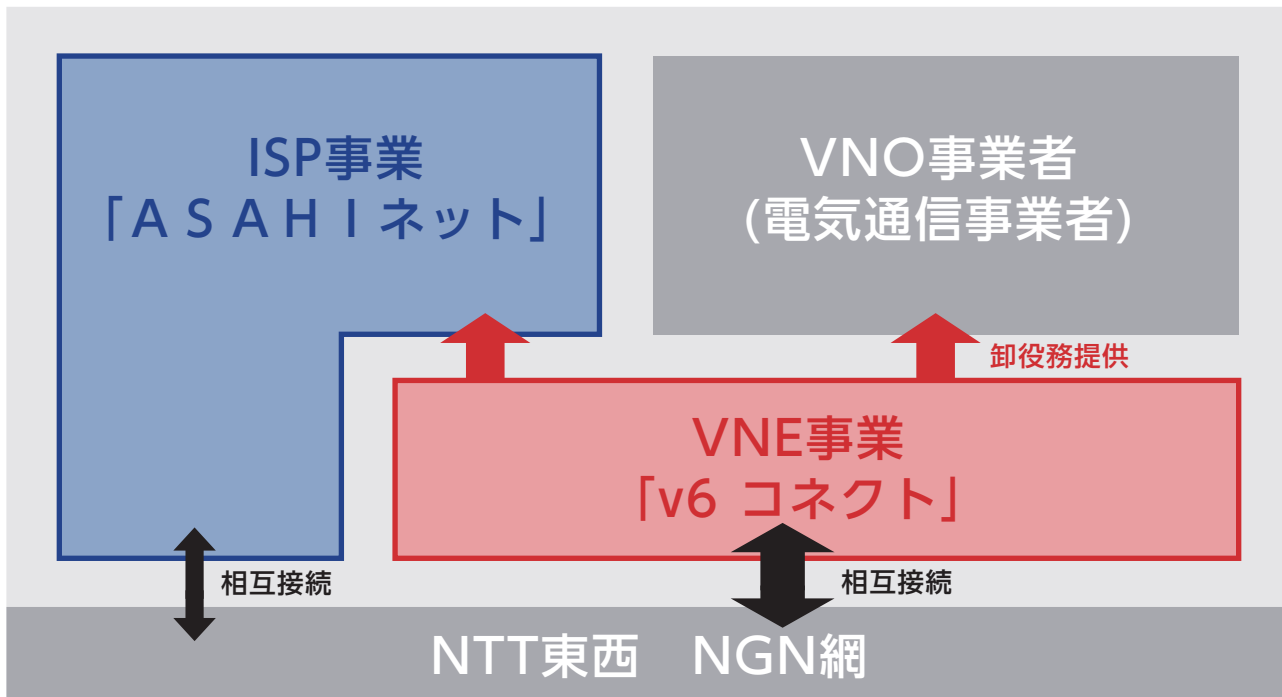
インターネット接続事業

当社はインターネット接続事業として、インターネット・サービス・プロバイダ(ISP)事業とバーチャル・ネットワーク・イネーブラー(VNE)事業を行っております。

ISP事業は、インターネット接続を中心とした自社サービス「ASAHIネット」を運営しております。

VNE事業は、ネイティブ方式(IPv6 IPoE)によるIPv6インターネット接続を電気通信事業者へローミング提供するサービス「v6 コネクト」を提供しております。

インターネット接続事業の構造

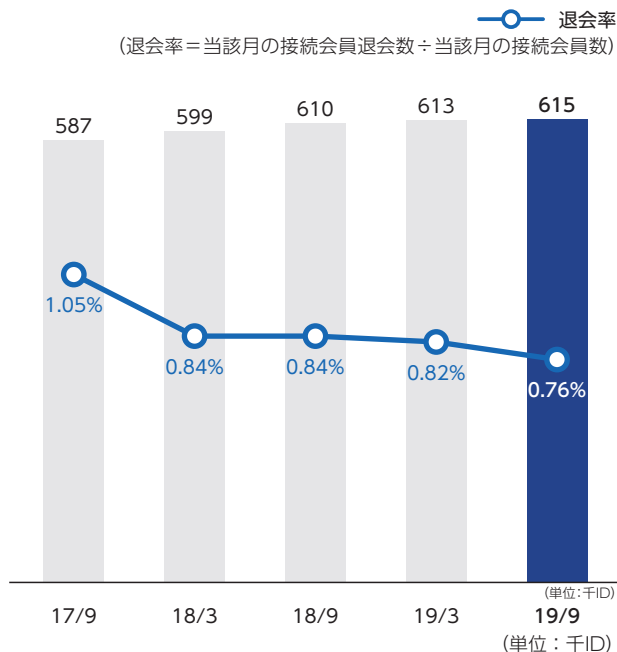


「ASAHIネット」 会員数の状況

会員数は前年同期末比6千ID増加。退会率は0.76%に改善

2019年9月末のISP「ASAHIネット」の会員数は前年同期末比0.9%増、6,000ID増の61万5,000IDとなりました。そのうちFTTHの会員数が前年同期末比1万ID増の39万9,000IDとなりました。IoT/M2Mの通信インフラや働き方改革のためのインターネット設備などの需要増加により、モバイル接続の会員数も順調に増加しています。

また、2020年3月期上期の退会率は0.76%となりました。退会率は引き続き低い水準を維持しています。



	2018年9月末	2019年9月末	増減数	2019年3月末
FTTH (光接続)	389	399	+10	392
ADSL	23	20	-4	22
ブロードバンド 計	413	419	+6	414
モバイル接続 他	197	197	-0	199
会員数 計	610	615	+6	613

「ASAHIネット」導入事例

働き方改革推進のための個室ブース「テレキューブ」に採用



働き方改革推進のためのリモートワーク環境「テレキューブ」に当社のサービスが採用されました。

「テレキューブ」とは防音型でキャスター付きのブースで、駅や空港、図書館など利便性の高い公共空間に設置し、「いつでも」「どこでも」快適なテレワークを実現するものです。

「テレキューブ」には当社のモバイル接続とクラウドカメラソリューションの「AiSTRIX」がブース内のセキュリティ対策や忘れ物チェックなどに活用されています。

設置場所を選ばない、ワイヤレスかつセキュアで高品質なインターネット接続を実現できることから当社のサービスを評価いただいています。

※「テレキューブ」とはテレキューブサービス株式会社が提供する、いつでもどこでも快適に働けるテレワークを実現する防音型コミュニケーションブースです。2023年までに東京中心に全国の主要エリアにおいて1,000台設置を計画しています。

「ASAHIネット」導入事例

歴史的建造物を活用した複合宿泊施設「VMG HOTELS & UNIQUE VENUES」に採用



つなぐをつくる、つなぐをささえる。
AsahiNet

インターネット接続
サービス

マネージドルーターサービス
おまかせルーター

クラウドカメラソリューション
AiSTRIX



地方創生
観光客誘致の施策

当社のサービスを組み合わせて、地方創生の取り組みである歴史的建造物を活用した複合宿泊施設「VMG HOTELS & UNIQUE VENUES」の通信環境を構築しております。この取り組みは、広島県の竹原や福岡県の太宰府など各地域の古民家や街並みを複合宿泊施設として再生させる事業です。

当社のインターネット接続とマネージドルーターサービス「おまかせルーター」を用いて宿泊者が利用するフリーWi-Fi環境を提供しています。また、クラウドカメラソリューション「AiSTRIX」で人気(ひとけ)のないところや入口などを本社や事務所から遠隔で監視する環境も提供しています。

宿泊施設を運営するうえで必要な通信関連サービスの設置からサポートまでを一つの事業者で対応できる点を評価いただいています。

※「VMG HOTELS & UNIQUE VENUES」はバリューマネジメント株式会社が運営する各地に点在して残されている古民家等の歴史的建造物を、その歴史性を尊重しながら客室や飲食店、または店舗としてリノベーションを行い、その土地の文化や歴史を実感できる複合宿泊施設として再生していく取り組みです。

「ASAHIネット」導入事例

デジタルサイネージのコンテンツ配信制御や機器状況監視



IoTやM2Mの通信インフラとして、当社のモバイル接続を採用いただいた事例が増加しています。

IoT、M2Mは駐車場のメーター、監視カメラ、発電所の発電機など様々な用途でインターネット接続サービスが利用されています。これらのIoT案件の中でもデジタルサイネージの取り組みが拡大しています。

駅や空港、商業施設、マンションのエントランス等にデジタルサイネージを設置する際に当社のLTEサービスを採用いただいております。

デジタルサイネージにおいては、リアルタイムでのコンテンツの配信と同様に機器の死活監視も重要となることから、当社のグローバルIPアドレス付きのLTEサービスが採用される事例が増えています。

「v6 コネクト」 サービス開始

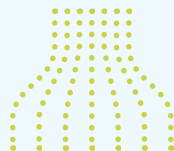
ISP事業のノウハウを生かした高品質なIPv6接続サービス

v6コネクト



IPv6 + IPv4

IPv6接続に加えて、IPv4 over IPv6接続機能も提供



高品質

ネットワーク構築技術、設備構築のノウハウ、帯域のコントロール技術



ALL in One

ネットワークの構築と運用を一括して提供。設備準備不要

VNE事業としてIPv6接続サービスを電気通信事業者へローミング提供するサービスのブランド名を「v6コネクト」としました。

電気通信事業者には、大きく二つの需要があると考えています。

一つ目は、既存ビジネスのコストと品質のバランスを維持することを主とした需要。通信トラフィックが継続的に増加する状況の中、健全に事業を継続するためにサービス品質とその維持のために投下するコストとのバランスを保ちたい需要です。

二つ目は、新たなビジネス機会の創出を主とした需要。IPv6接続サービスを活用して自社サービスや顧客サポートを作り上げ、ビジネス領域や規模の拡大を目指したい需要です。

当社はどちらの需要にも対応できるよう、自社で運営するISP「ASAHIネット」で積み重ねたノウハウを生かし、顧客である電気通信事業者の視点に立ちながら、「v6コネクト」のサービスを展開していきます。

「v6 コネクト」提供状況

2020年3月期 上期は新たに3社と提携開始

VNO事業者(電気通信事業者)



集合住宅向け事業者

ファイバーゲート
[レジデンスWi-Fi]

バッファロー・IT・ソリューションズ
[アパートWi-Fi]

Wizグループ
集合住宅向けインターネット



ISP事業者

Wizグループ
[Drive 光]

A社



その他業界



B社



卸役務提供

「v6 コネクト」

※提携先の都合により、一部事業者名は表示しておりません。

VNE事業においては、2020年3月期は「v6 コネクト」がフィットする業界を見つけること、そして電気通信事業者と協業関係を数多く作り上げることをポイントとして営業活動を行っております。

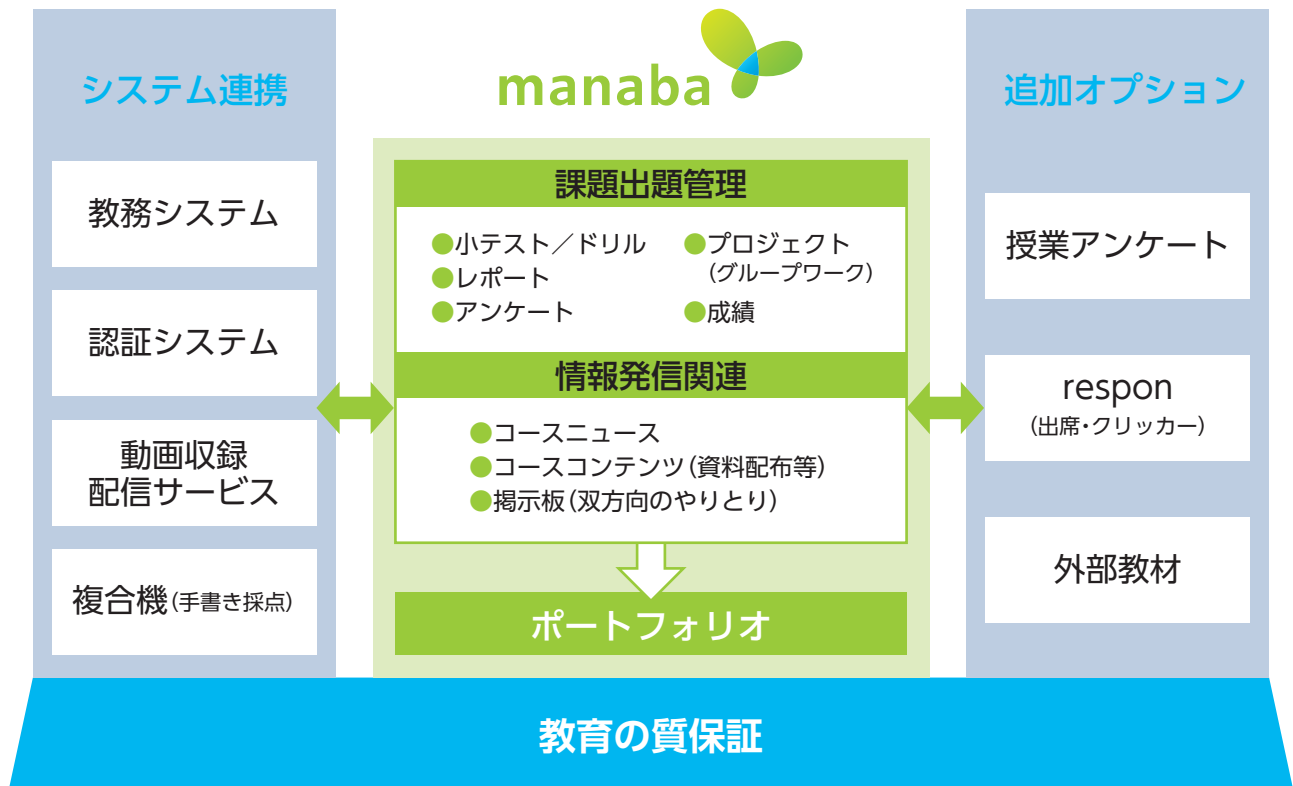
上期は新たに3社と提携を開始しました。下期も引き続きこのような協業関係を拡大していきます。

教育支援サービス「manaba」

「manaba」は当社が開発・販売・サポートを行っているクラウド型の教育支援サービスです。

LMS（ラーニング・マネジメント・システム）としての役割に加え、教務システムや認証等の既存学内システムや外部教材ともスムーズに連携し、教育支援のソリューションを広範囲に提供しております。

サービスの全体像



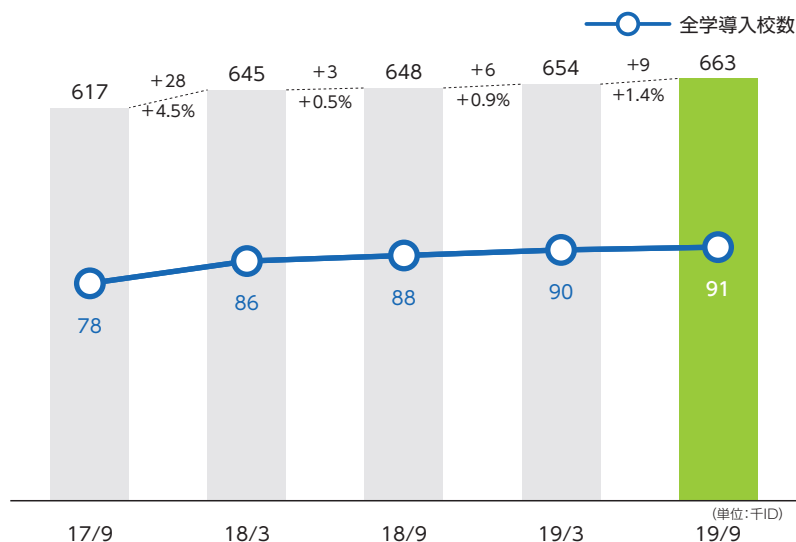
「manaba」契約ID数の状況

前年同期末比15千ID増加。園田学園女子大学に新規導入

「manaba」は2020年3月期上期には兵庫県の園田学園女子大学様に全学で導入をいただき、全学導入校数は前年同期末比3校増の91校となりました。3校増の内訳は、新規導入が5校、学部単位などでの部分導入から全学へ拡大した大学が2校、解約が4校となります。その結果、「manaba」の2019年9月末の契約ID数は前年同期末比1万5,000ID増の66万3,000IDとなりました。

当上期は利用者向けのサポートサイトをリニューアルし、活用方法を解説した講習会動画を掲載したりFAQを充実させるなど、活用促進の取り組みを進めております。

「manaba」は新規導入校を着実に増やすための営業活動を引き続き行いつつ、導入校に対して付加商材の提案や活用促進の施策による関係性の維持を図り、より長く活用いただけるお客様を増やすことで事業としての収益性を高めてまいります。



四半期貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

科 目	当第2四半期末 2019年9月30日現在	前期末 2019年3月31日現在
資産の部		
流動資産	7,937	8,992
固定資産	2,810	2,601
有形固定資産	1,176	1,090
無形固定資産	413	359
投資その他の資産	1,220	1,151
① 資産合計	10,747	11,593
負債の部		
流動負債	1,323	1,474
固定負債	1	1
② 負債合計	1,324	1,475
純資産の部		
株主資本	9,201	9,940
資本金	630	630
資本剰余金	794	783
利益剰余金	9,851	9,545
自己株式	△2,075	△1,017
評価・換算差額等合計	221	177
③ 純資産合計	9,422	10,118
負債純資産合計	10,747	11,593

① 総資産

総資産は前期末比8億4,600万円減の107億4,700万円となりました。
これは2019年5月にToSTNeT-3による自己株式の買い付けを行ったことによるものです。

② 負債

負債は前期末比1億5,000万円減の13億2,400万円となりました。

③ 純資産

純資産は前期末比6億9,500万円減の94億2,200万円となりました。自己資本比率は87.7%となりました。

四半期損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

科 目	当第2四半期累計	前第2四半期累計
	自 2019年4月 1日 至 2019年9月30日	自 2018年4月 1日 至 2018年9月30日
① 売上高	5,067	4,789
② 売上原価	3,359	3,369
売上総利益	1,708	1,420
③ 販売費及び一般管理費	911	851
④ 営業利益	797	569
営業外収益	39	5
営業外費用	1	0
⑤ 経常利益	834	574
特別利益	—	6
特別損失	6	0
税引前四半期純利益	828	579
法人税等	255	179
⑥ 四半期純利益	573	400

① 売上高

売上高は前年同期比2億7,700万円増の50億6,700万円となりました。主に「v6 コネクト」やNTT東西の光コラボレーションモデルを活用した「AsahiNet 光」や「ASAHIネット ドコモ光」の増収が寄与しております。

② 売上原価

売上原価は前年同期比1,000万円減の33億5,900万円となりました。継続する通信トラフィックの増大に対して効率の良い設備増強を実施することにより、売上原価の増加幅を抑えられています。

③ 販売費及び一般管理費

販売費及び一般管理費は前年同期比6,000万円増の9億1,100万円となりました。ISP「ASAHIネット」の売上計画に基づいた業務委託費や広告宣伝費などが増加しております。

④ 営業利益

営業利益は前年同期比2億2,800万円増の7億9,700万円となりました。営業利益率は15.9%となりました。

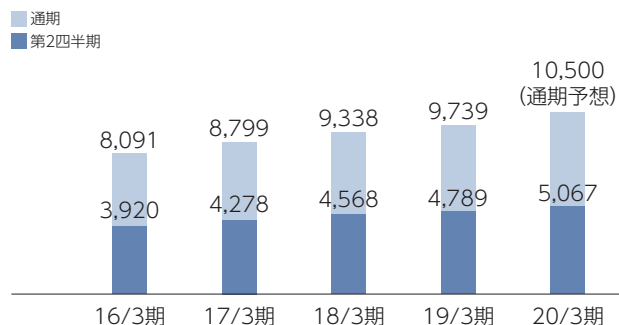
⑤ 経常利益

経常利益は前年同期比2億6,000万円増の8億3,400万円となりました。

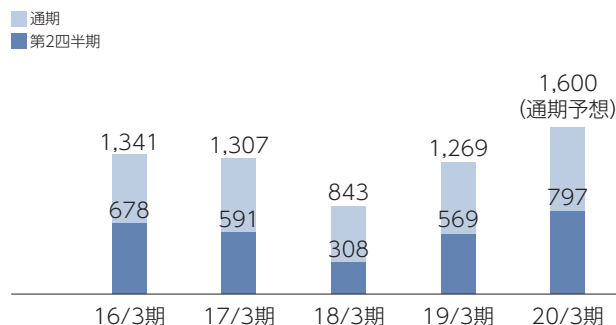
⑥ 四半期純利益

四半期純利益は前年同期比1億7,200万円増の5億7,300万円となりました。1株当たりの四半期純利益は20円22銭となりました。

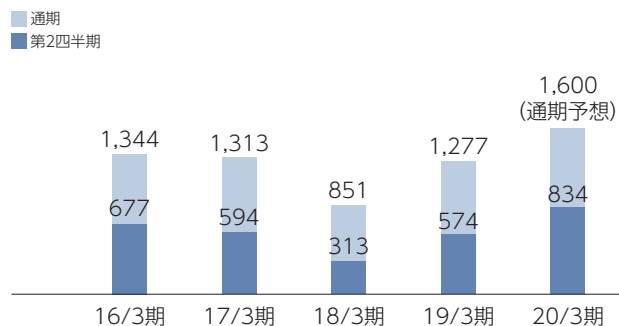
売上高(百万円)



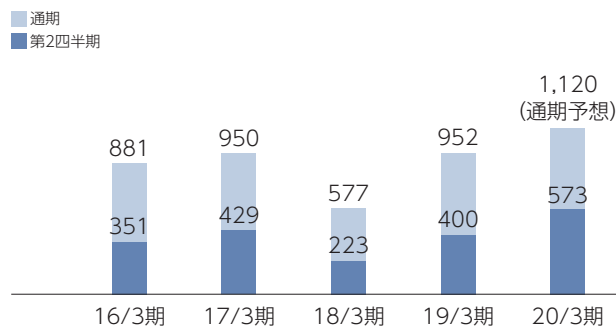
営業利益(百万円)



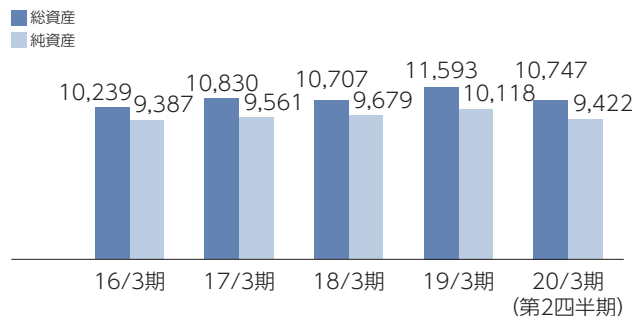
経常利益(百万円)



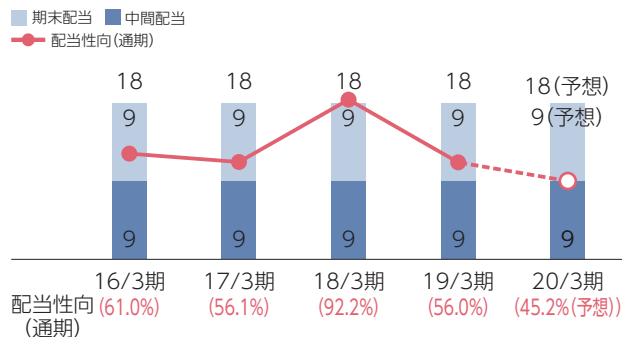
四半期(当期)純利益(百万円)



総資産・純資産(百万円)



配当金(円)と配当性向(%)



株式の状況

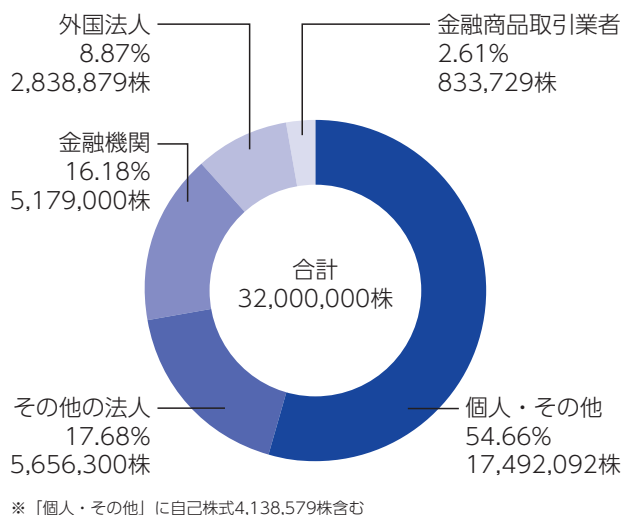
発行済株式の総数	32,000,000株
株主数	4,777名
うち議決権あり	4,427名

大株主 (上位10名)

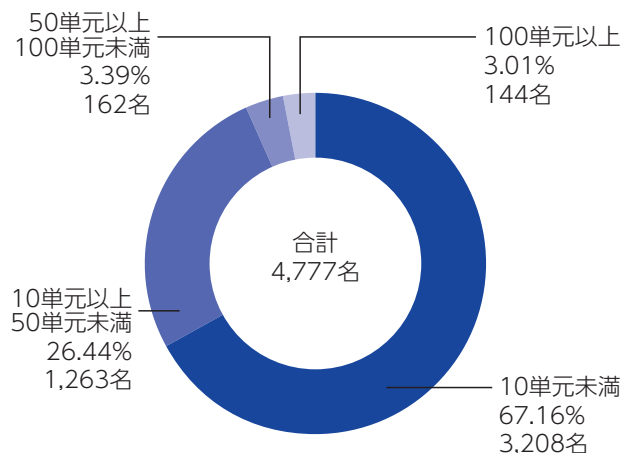
株主名	持株数(株)	持株比率(%)
杉山 裕一	2,546,000	9.14
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社 (信託口)	2,484,400	8.92
株式会社朝日新聞社	2,217,000	7.96
株式会社IWASAKI	1,690,000	6.07
日本マスタートラスト 信託銀行株式会社 (信託口)	1,507,100	5.41
GOLDMAN SACHS INTERNATIONAL (常任代理人 ゴールドマン・ サックス証券株式会社)	1,095,398	3.93
島戸 一臣	959,000	3.44
岩崎 慎一	956,000	3.43
東日本電信電話株式会社	950,000	3.41
梅村 守	947,000	3.40

(注) 当社は、自己株式4,138,579株を保有しております。また、持株比率は自己株式を控除して計算しております。

株主別分布状況



所有株式数別分布状況



(1単元の株式数：100株)

株主メモ (株主のご案内)

証券コード	3834
証券取引所	東京証券取引所 市場第一部
事業年度	4月1日から翌年3月31日
定時株主総会	毎事業年度終了後3ヵ月以内
基準日	3月31日
単元株式数	100株
中間配当基準日	9月30日
公告方法	電子公告 https://asahi-net.co.jp/ir/stock/publicinfo.html ただし、電子公告によることができない事故その他のやむをえない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載します。
株主名簿管理人 特別口座の口座 管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	東京都府中市日鋼町 1 - 1 TEL.0120-232-711 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

ご注意

株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。

決算説明会の テキスト配信

決算説明会の内容をテキスト配信（書き起こし）しております。
コーポレートサイト「株主・投資家情報」の「IRライブラリ」から是非ご確認ください。

<https://asahi-net.co.jp/>

朝日ネット IR 検索



株主さま向け
アンケート

株主の皆さまの声を お聞かせください

当社では、株主の皆さまの声を聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、
アクセスコード入力後に表示される
アンケートサイトにてご回答ください。
所要時間は5分程度です。

 <https://www.e-kabunushi.com>
アクセスコード **3834**

いいかぶ

検索



空メールによりURL自動返信

kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。（タイトル、本文は無記入）
アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。



携帯電話からもアクセスできます

QRコード読み取り機能のついた携帯電話をお使いの方は、右のQRコードからもアクセスできます。
QRコードは株式会社デンソーウェブの登録商標です。



●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヵ月間です。

ご回答いただいた方の中から
抽選で薄謝（図書カード500円）
を呈呈させていただきます



※本アンケートは、株式会社 a2media（エー・ツー・メディア）の提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。
（株式会社 a2media についての詳細 <https://www.a2media.co.jp>）
※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます、事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。（1809）

●アンケートのお問い合わせ TEL:03-6779-9487（平日 10:00～17:30）
「e-株主リサーチ事務局」 MAIL:info@e-kabunushi.com

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

会社概要

社名	株式会社朝日ネット
資本金	6億3,048万円
設立	1990年4月2日
所在地	〒104-0061 東京都中央区銀座4丁目12番15号 歌舞伎座タワー21階 TEL：03-3541-1900 FAX：03-3541-5631
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・インターネット接続サービス「ASAHIネット」を主催・運営 ・IPv6接続サービス「v6 コネクト」の提供 ・教育支援サービス「manaba」の企画・開発・提供

取締役 2019年6月26日付

代表取締役社長	土方 次郎
取締役	溝上 聡司
社外取締役	古賀 哲夫
社外取締役	八尾 紀子

監査役 2019年6月26日付

常勤監査役	吉田 望
監査役	今西 浩之
監査役	樋口 一磨

執行役員 2019年4月1日付

執行役員	土方 次郎
執行役員	溝上 聡司
執行役員	有田 崇
執行役員	鎌野 篤
執行役員	河野 靖彦
執行役員	小松 大
執行役員	中野 功一
執行役員	村田 真之助
執行役員	妻鹿 企邦

沿革

1990年	4月	株式会社アトソン（現在の株式会社朝日ネット）設立。パソコン通信を中心に事業を展開
1994年	6月	インターネット接続サービスを開始
2000年	3月	全株式を役員・社員が取得、独立系通信事業者となる
2001年	8月	光接続サービスを開始
2006年	8月	NTT東日本へ第三者割当増資を実施
	12月	東京証券取引所市場第二部に株式を上場
2007年	2月	教育支援サービス「manaba」を開始
	12月	東京証券取引所市場第一部銘柄に指定
2008年	7月	日経ビジネス「2008年アフターサービス満足度ランキング」のインターネットサービスプロバイダ部門で第1位となる
2010年	7月	日経BPコンサルティング社「プロバイダー満足度調査2010」において総合1位を獲得
2011年	12月	オリコン「顧客満足度の高いプロバイダランキング」第1位を受賞
2013年	1月	RBB TODAY「ブロードバンドアワード2012」において、インターネット・サービス・プロバイダ顧客満足度 第1位を受賞。これにより10年連続顧客満足度1位となる
	3月	「ASAHIネットLTE」を開始
	12月	朝日新聞社と資本・業務提携契約を締結
2014年	2月	「ASAHIネット WiMAX 2+」を開始
	9月	「ASAHIネットおまかせルーター」を開始
2015年	2月	「AsahiNet 光」を開始
	2月	「ASAHIネット ドコモ光」を開始
	3月	「manaba」全学導入校数50校達成
	6月	「AiSTRIX（アイストリクス）」を開始
	12月	オリコン「2015年 オリコン日本顧客満足度ランキング『プロバイダ部門（関東）』」において、総合第1位を獲得
2017年	4月	ASAHIネット会員向けに「IPv6接続サービス」を開始
	5月	「ASAHIネット マンション全戸加入プラン」を開始
2018年	9月	他事業者向けに「IPv6接続サービス」のローミング提供を開始（サービス名「v6 コネクト」）
	9月	「ASAHIネット」会員数60万人達成
	12月	RBB TODAY「ブロードバンドアワード2018」（顧客満足度調査）においてプロバイダ部門 総合1位を獲得（5年連続、8回目）



証券コード：3834



ASAHIネットはRBB TODAY「ブロードバンドアワード2018」においてプロバイダ部門総合1位を受賞しました。



見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。



ミックス
責任ある木質資源を
使用した紙
FSC® C013080

